

NO.1 データベースに関する用語の説明として妥当なのは次のうちどれか。

1. 「SQL」とは、木（ツリー）構造型データベースを構築・利用するためのコンピュータ言語で、データの意味や構造を定義するために「タグ」と呼ばれる特定の文字列を用いるマークアップ言語の一種である。
2. 「Z39.50」とは、ウェブ上で検索可能なデータベースのデータ構造を定めた国際規格で、複数のデータベースの相互運用性を確保する目的でW3C（World Wide Web Consortium）が開発したものである。
3. 「レコード長」とは、図書館を含むデータベース作成機関において、データの記録に関する事務を指導・管理し、データベースへのデータ入力者を監督する職のこと、又はその職に就いている人のことである。
4. 「エンドユーザー検索」とは、専門家や研究者のような最も広範で詳細な情報を求める利用者でも満足できるように、代行検索者（サーチャー）が、特定の主題に関する情報を徹底的・網羅的に収集する検索のことである。
5. 「データマイニング」とは、大量のデータ中に隠れている法則、因果関係、パターンなど、情報検索技術のみでは得がたい価値ある情報を、データベースから導出・発見するためのデータ処理技術のことである。

(専門試験 司書)

NO.2 次の記述A～Cは、児童文学及び図書館の児童サービスに関する資料のタイトルとその解題である。記述と著者名をいずれも正しく組み合わせているのはどれか。

- A. 『子どもと本の世界に生きて』(児童図書館員である著者が、自らの半生と、児童図書館員の仕事について分かりやすく語った書)
- B. 『本・子ども・大人』(子どもにどのような本を与えればよいかについて、大人の目線で教訓的な本ばかりを与えないようにという意図で書かれた書)
- C. 『子どもの図書館』(自宅に開いた「かつら文庫」での実践報告をまとめ、海外の児童図書館サービスにも触れた書)

A	B	C
1. 石井桃子	松岡享子	小河内芳子
2. 小河内芳子	石井桃子	松岡享子
3. 松岡享子	ポール・アザール	小河内芳子
4. アイリーン・コルウェル	ポール・アザール	石井桃子
5. ポール・アザール	アイリーン・コルウェル	石井桃子

正答番号 4